

北杜市 地上設置型太陽光発電設備の現状

① 民家にせまるパネルー下黒沢泥里地区 住民に何の説明もなくある日突然周りの山林が

切られ、複数の業者によりパネルが設置され、斜面の保水力がなくなり、大雨になると民家周辺に出水し、浄化槽が使えなくなった。パネルの反射熱で、夜も気温が下がらず、クーラー設置に追い込まれた。住民の一人は病気になった。いくつかの業者はいまだに柵も植栽もしていません。さらに、民家の北側や料理店の横にも新たに作られました。四方がパネルに囲われました。さらに水害が起きた時、唯一排水に使えた土地も新しく太陽光発電用地として別な業者が計画しています。



② 家のすぐ前までパネル（裁判中）一庭の境界ぎりぎりまでパネルを並べ、視界

を遮ってしまった。杜撰な工事で強風でパネルが飛ばされ、災害の危険も心配される。住民がパネル撤去を求めて裁判中。同じ業者がさらに庭の南～西側に増設工事を始めた。



③ 斜面を覆うパネル 小淵沢の七里岩ライン沿いの木を伐採し、その斜面に並べら

れたパネル。当初の計画にさらにパネルを追加し（コンクリートの土台の横に簡単な工事で追加）、過積載にし、利益をあげようとした。



- ④ 4メートルもの高さのパネル 小淵沢のミヨシに近い場所。ある日突然工事が始まった。たくさんのパネルを並べる為、見上げる高さのパネルになった。住民は建設反対の看板を掲げている。この地域の周りは追加、追加で、たくさんのパネルが並ぶ。



- ⑤ ドラム缶に載せただけのパネル 杜撰な工事—長坂上条

急ごしらえの工事で、斜面にドラム缶を置き、パネルを並べた。強風が心配。今は、色とりどりのドラム缶を灰色に塗り直した。



- ⑥ 国道 141 号線に立ち並ぶ電柱

1 区画を 50 キロワット以下にして（電気技術士を置かなくて済むので）分割して設置し、分譲型発電で出資者を集めて開発する案件がとても多いです。合計でメガ規模になります。分割した分、パワコンと電柱が増えます。国道に「見事に」並ぶ電柱です。

⑦ パネルの海 3 万枚

明野町ハイジの村の東

大手が 14 ヘクタールの山林を開発して 3 万枚のパネルを並べました。今現在市内一番の広さです。調整池や周りに緑地帯を設けていますが、環境アセスはやっていません。広さとパネルの数から、周辺的环境への影響が心配されます。

⑧ 高原ラインの谷にもパネル



八ヶ岳高原ラインの仙人小屋の下の谷間の樹木をかなり伐採してパネルを並べました。すぐ下には砂防ダム。大きな災害が心配されます。さすがに山梨県は中止命令を出しました。でも、今現在、しっかり電柱が立ち、電線で繋がられています。さらにこの下部の場所にも大規模なパネルの設置計画が浮上ってきています。

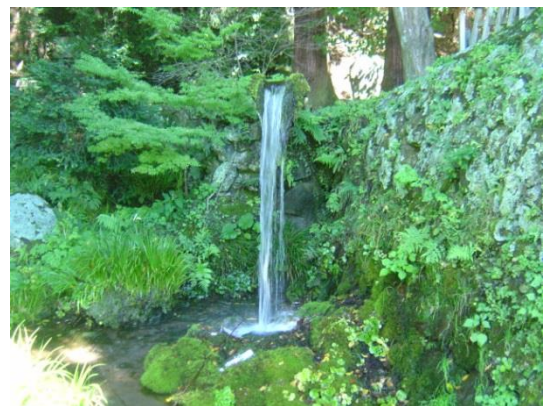
⑨ 区が反対でも工事強行

長坂町渋沢区の総会で 2 度も反対になっても、区長と業者が誓約書を取り交わし、県の林地開発の許可を得た。区民は誰も知らなかった。ここも分割案件で、パワコンの電柱が所狭しと並んでいます。



⑩ 名水百選の大滝湧水近く of 山林も標的に

大滝湧水の近くの山林 3 ヘクタールに、パネル 1 万 5 千枚のメガソーラー計画が出され、近隣 6 区の区長会の反対で、中断したが、また新たな計画が浮上してきた。



⑪ 増富地区の大平牧場跡地に県下最大のメ

ガソーラー計画が

29 ヘクタール (東京ドームの 22 倍)、パネル 6 万枚という巨大なメガソーラーが設置されよう

としています。県下最大です。(出力 14.7 メガワット)

横尾山の下、恵まれた自然環境にある、この草地に、塩川ダムの集水域でもあり、黒森地区の簡易水道水源でもあるこの地に、メガソーラーができると、どんな影響があるのか深刻な問題です。



⑫ 協定書結ぶもやはり不安が

長坂体育館の東の斜面に広がる1万枚のパネル。4ヘクタールの土地に、調整池も作らずパネルが並ぶ。付近の人々は様々な条件をつけて協定書を結んだが、出来上がってみると、圧倒するパネルの姿に、土砂災害などの不安を感じている。

